

様式第 9 号

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

先進医療名及び適応症：内視鏡手術支援用ロボット(da Vinci Surgical System)による直腸癌手術 直腸悪性疾患	
<b>I. 実施責任医師の要件</b>	
診療科	<input checked="" type="checkbox"/> ( 外科 ) ・ 不要
資格	<input checked="" type="checkbox"/> ( 日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、DVSS の Certificate の 3 つの資格を取得) ・ 不要
当該診療科の経験年数	<input checked="" type="checkbox"/> ( 5 ) 年以上 ・ 不要
当該技術の経験年数	<input checked="" type="checkbox"/> ( 1 ) 年以上 ・ 不要
当該技術の経験症例数 注 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施者 [術者] として ( 25 ) 例以上 ・ 不要 [それに加え、助手又は術者として ( ) 例以上 ・ 不要]
その他 ( 上記以外の要件)	1. ロボット支援下大腸切除術を 1 年以上経験 2. 日本内視鏡外科学会技術認定取得者後リンパ節郭清を含むロボット支援下大腸切除術を 30 例以上経験しており、その内 25 例以上がロボット支援下直腸切除術であること。
<b>II. 医療機関の要件</b>	
診療科	<input checked="" type="checkbox"/> ( 外科 ) ・ 不要
実施診療科の医師数 注 2)	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要 具体的内容：日本消化器外科学会指導医の常勤医師 1 名以上 及び日本内視鏡外科学会技術認定取得医の常勤医師 1 名以上。
他診療科の医師数 注 2)	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要 具体的内容：麻酔科常勤医師 1 名以上
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	<input checked="" type="checkbox"/> ( 常勤臨床工学技士 1 名以上 ) ・ 不要
病床数	<input checked="" type="checkbox"/> ( 500 床以上) ・ 不要
看護配置	<input checked="" type="checkbox"/> ( 7 対 1 看護以上) ・ 不要
当直体制	<input checked="" type="checkbox"/> ( 外科 ) ・ 不要
緊急手術の実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要
院内検査 (24 時間実施体制)	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	要 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要
倫理審査委員会による審査体制	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要 審査開催の条件： 2 ヶ月に 1 回以上開催していること。
医療安全管理委員会の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要

医療機関としての当該技術の実施症例数	<input checked="" type="checkbox"/> ( 30 症例以上)・不要
その他 (上記以外の要件、例; 遺伝がん セリグの実施体制が必要 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進医療申請時ロボット支援下大腸切除術を導入後 1 年以上経過している。</li> <li>・ 都道府県がん診療連携拠点病院または地域がん診療連携拠点病院である。</li> <li>・ 過去5年間に直腸癌に対する切除手術を年間50例行った実績がある。術式は問わない。(5年総計で250例)</li> </ul> 側方郭清を行う際は、施設として 5 例以上のロボット支援下側方郭清を経験していること。
<b>Ⅲ. その他の要件</b>	
頻回の実績報告	要 ( )・ <input checked="" type="checkbox"/>
その他 (上記以外の要件)	

注 1) 当該技術の経験症例数について、実施者〔術者〕としての経験症例を求める場合には、「実施者〔術者〕として ( ) 例以上・不要」の欄に記載すること。

注 2) 医師の資格 (学会専門医等)、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。